

三  
は  
7  
門  
別  
種

卷三  
東山道  
中山道  
奥羽

改正日本地誌要畧  
大槻修三著述  
三

三  
は  
7  
門  
別  
種

卷二  
東海道  
海  
道  
關東  
小笠原島

改正日本地誌要畧  
大槻修三著述  
二

三  
は  
7  
門  
別  
種

卷一  
總論  
兩京  
畿内

改正日本地誌要畧  
大槻修三著述  
一

三	門
は	別
七	冊

卷一  
 總論  
 兩京  
 畿内

改正日本地誌要畧

大槻修三著述

一

文部省檢定濟教科用書

大槻文彦編

正校 日本小史

第三版

半紙本 全三册  
每册定價 廿錢

本書編輯ノ大體ハ開闢ニ始リテ今代ニ至リ凡ソ一國全體ノ大勢變遷ノ史上ノ重事ト認ムルモノヲ舉ゲ例ヘバ神武ノ創業文學ノ傳來天智ノ中興大寶ノ治ナドイフ如キ題ヲ設ケ章ヲ立テ粗々紀事本末ノ體ノ如クニシテ必シモ舊例ニ據ラズ一事ノ聯貫スルモノモ年時ノ隔リタルハ別題ニ提記シテ相照應セシメ而シテ各章ヲ列チテ以テ通史ノ連續ヲナサシメ先頃文部省ヨリ發セラレタル小學校用歴史編纂旨意書ト約畧符合シ即チ文部省ニテ教科用書檢定濟トナリ實ニ史體ノ眞面目ヲ得タルモノニテ決シテ普通ノ史ノ編年體年表體ノ如キモノ、比ニアラズ教育ニ從事スル諸君愛顧ヲ賜ヘ

發兌書肆

大阪心齋橋通北久太郎町  
同心齋橋通北久寶寺町角

柳原喜兵衛  
三木佐助

改正日本地誌要略

例言三則

一本書ノ第一版ハ明治八年十月ニアリ全部五卷トス同十一年三月第一第二ノ兩卷ヲ増訂シテ三卷トシ全部六卷ヲ以テ之ヲ再版ス當時數縣ノ小學教課書ニ採用セラレテ其發兌ノ部數ハ前後殆五萬ノ多キニ至レリ同十五年十一月又全部ニ改正ヲ加ヘテ第三版ヲ開ク

此書是ナリ本年七月文部省更ニ師範學校教課書ヲ選定サレ此書復其課目中ニ加ヘラレタルハ實ニ余ノ光榮ト云フベシ其方今文化日ニ加リ工業年ニ進ム故ニ道路ノ改修及ビ原野ノ開墾ヨリ鑛道運河海港等此書



例言

ノ載スル所既ニ其實地ト相合ハザルモノ少カラザル  
ベシ然レモ必其新事業ヲ記セントセバ毎月毎歳ノ改  
刪ヲ加フルモ遂ニ其實事ヲ舉グルヲ能ハザラシ覽者  
之ヲ諒セヨ

一此書ノ首ニ東西兩京ヲ別記スルハ第二版ヨリ此書體  
ヲ創ム而テ去歳政府大改革ノ後ハ官省其他各般ノ名  
稱位置モ亦從ヒテ廢置變革アリ今一々之ヲ改ムルニ  
由ナシ東京ノ如キハ殊ニ多シ覽者其異同ヲ咎ムル  
勿レ

一明治五年九月東京師範學校始テ建ツ其教課書トシテ  
開版セラレシ日本地誌略ハ余ガ囑託ヲ受ケテ之ヲ草

セシ者ナリ其後文部省ニ於テ訂正出版然レモ引用ノ

書ニ乏シカリシカバ考據甚艱ニ百方搜索シテ纔ニ能

ク編ヲナシ又其後日本地誌提要方ニ成ル八年一月上

行ハ尚後數年ニアリ余幸ニ其全書ヲ一覽スルヲ得テ此地誌

要略ヲ撰セシナリ爾時國郡ノ沿革ヲ述ベテ其後ニ附

載セントセシガ訂正尚其功ヲ畢ヘザレバ空シク之ヲ

筐底ニ藏スルヲ十餘年ナリキ抑モ古今ノ開化ヲ通覽

セントスルハ意ヲ土地境域ノ遷轉ニ注ガズバアルベ

カラズ我國二千五百年間其國土ノ沿革豈ニ之ヲ等閑

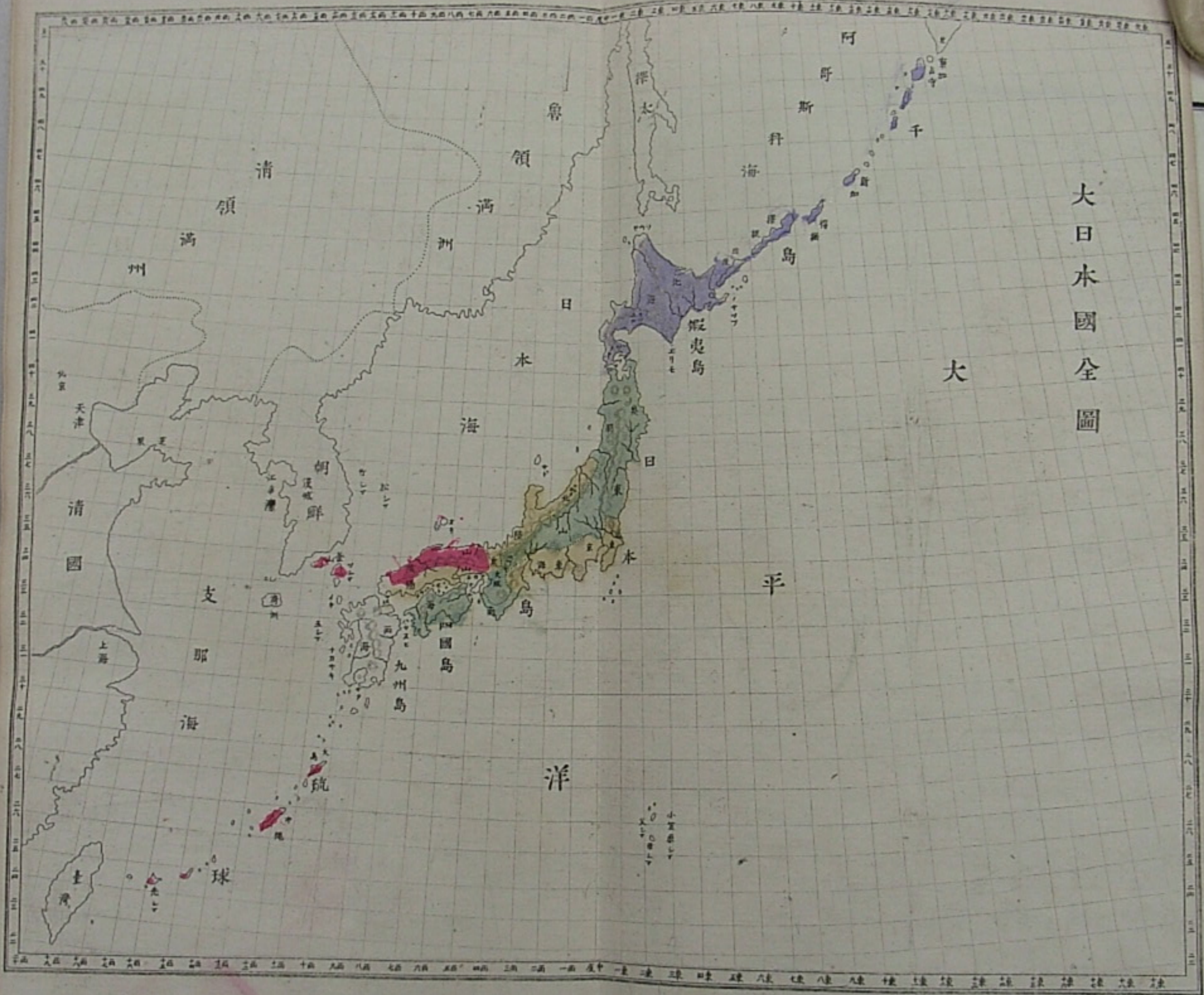
ニ付スベケンヤ近日本書第四版ノ舉ヲ待チ國郡志要

ヲ刊行シテ之ヲ世ニ示サントス

明治十九年七月

大槻修二 識

明治十九年七月、本書第四編大槻修二識  
 此書は、日本地誌の要略を、大槻修二氏が、明治十九年七月に著したものである。本書は、日本地誌の要略を、大槻修二氏が、明治十九年七月に著したものである。本書は、日本地誌の要略を、大槻修二氏が、明治十九年七月に著したものである。



大日本國全圖

改正日本地誌要略 卷之一



海

朝鮮

江華港

漢城

日

本

支

濟州

島

那

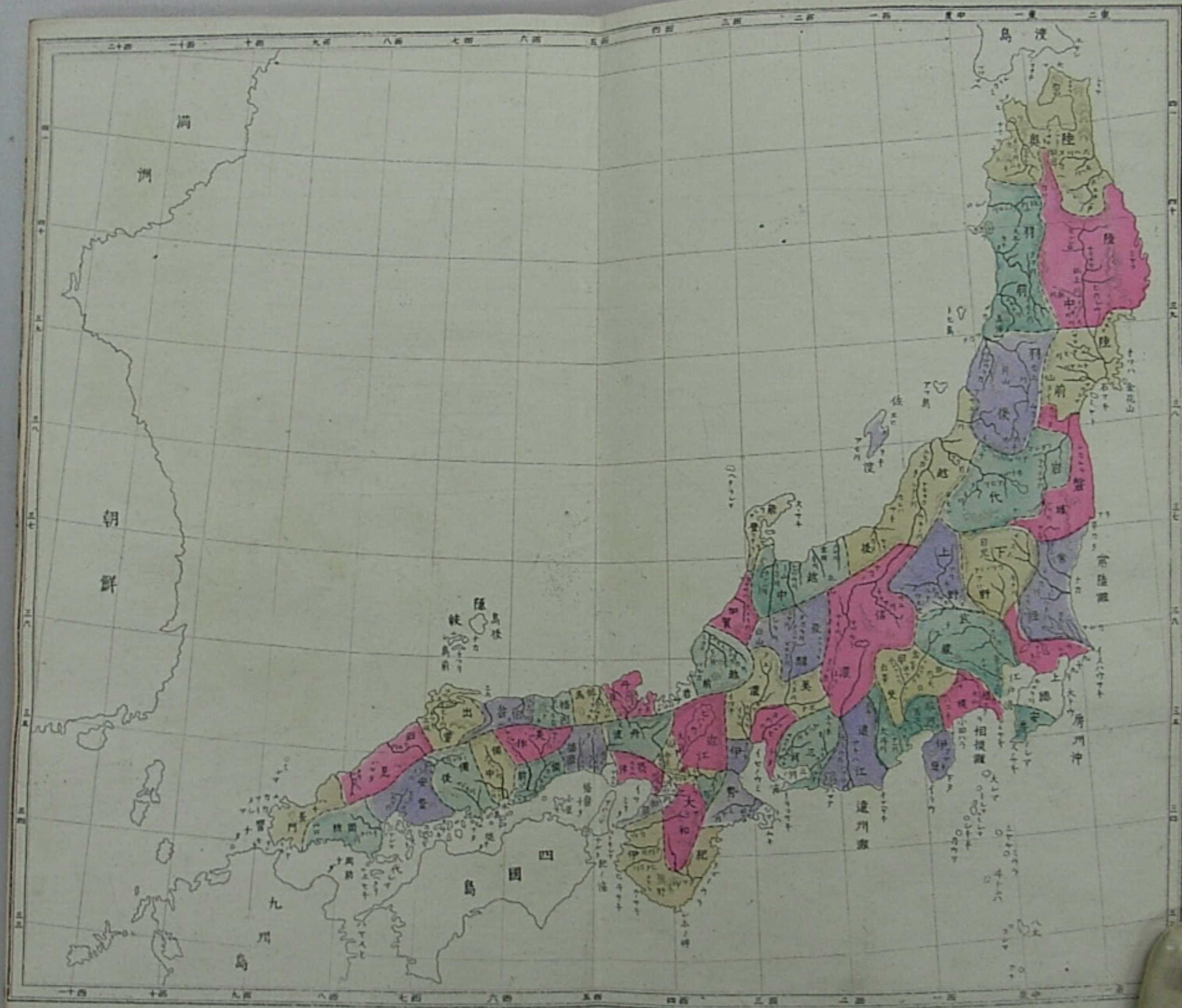
四國島

九州島

海

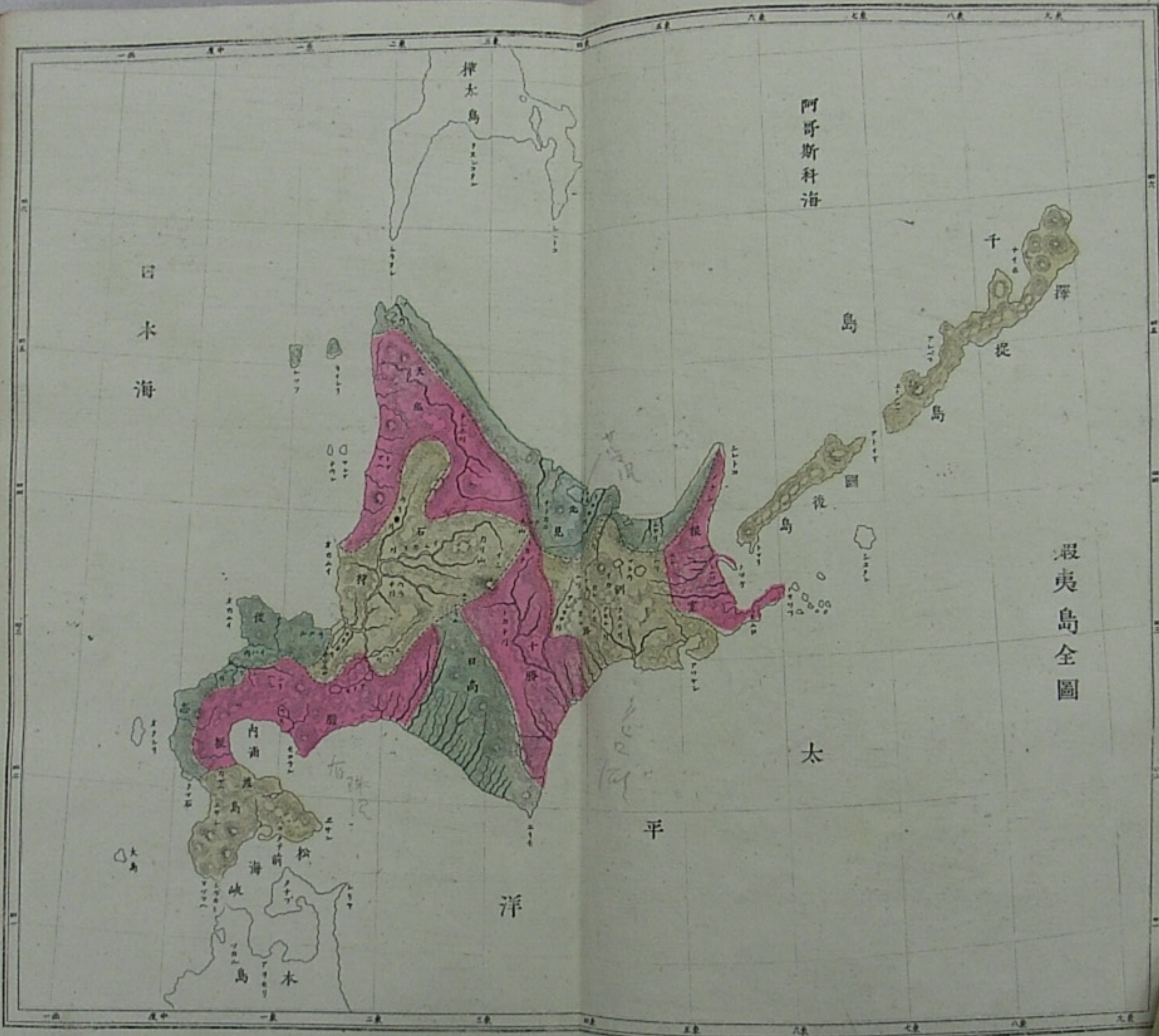
洋

琉球



改正日本地誌要略 卷之一





改正日本地理學叢書卷之一

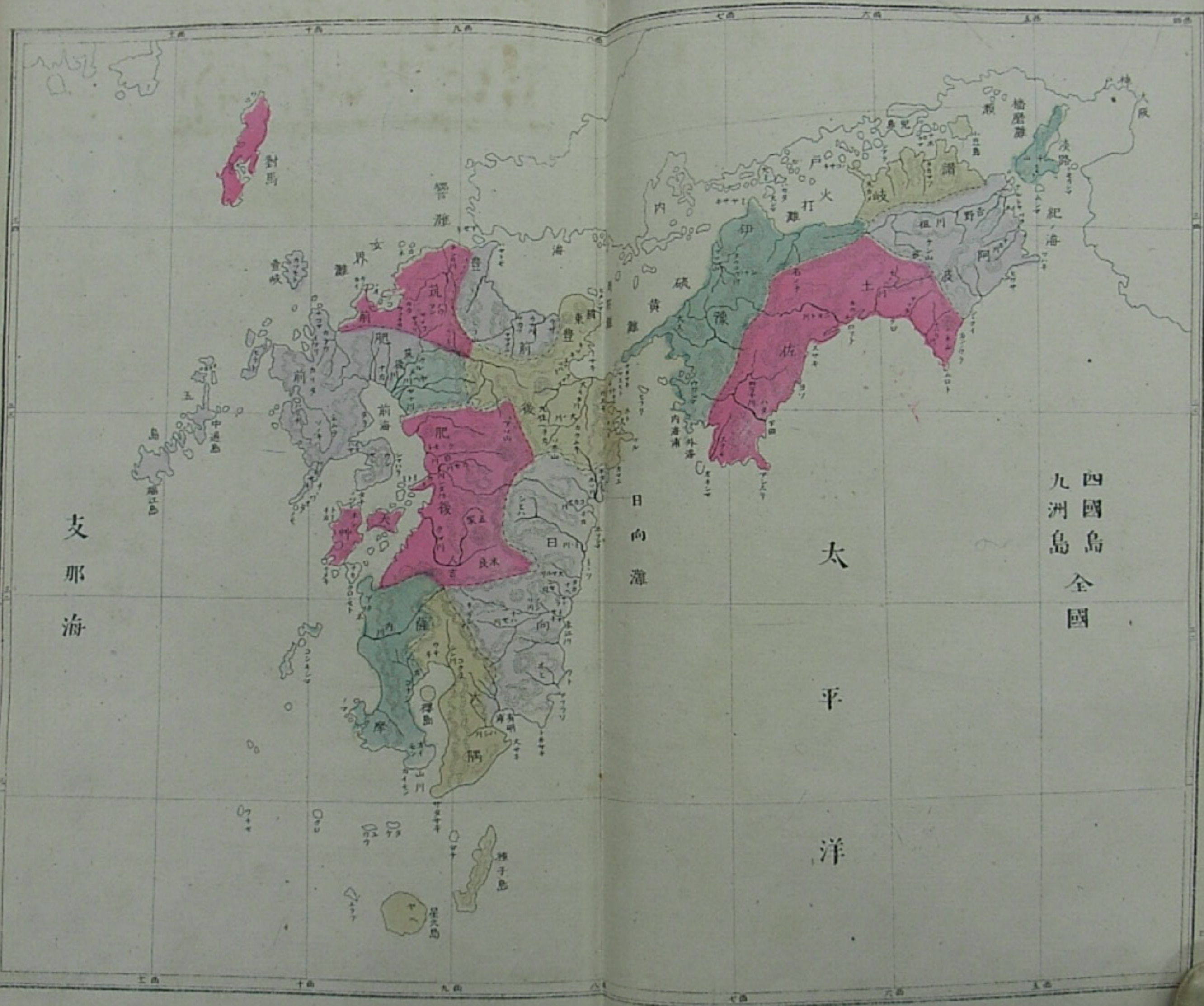
三

四國島全國

支那海

太平洋

日向海



支那海